

ふっさ 市議会だより

No.236 令和6年1月25日
発行/福生市議会

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042(551)1511(代表)
☎042(551)1523(直通)



X (Twitter)



Facebook



▲令和6年1月8日に開催された福生市成人式(実行委員会のみなさん)

令和5年第4回定例会

12月5日～12月22日

令和5年度一般会計補正予算等を可決

鹿児島県屋久島沖合での横田基地所属CV-22オスプレイの墜落についての要請文を国等へ提出

令和5年第4回定例会は、12月5日から12月22日までの会期18日間で開催されました。条例の一部改正、補正予算など、市長提出議案18件が審議されました。また、16名の議員による一般質問が行われ、市民等から提出のあった陳情5件は、不採択が4件、継続審査が1件となりました。

鹿児島県屋久島沖合での横田基地所属CV-22オスプレイの墜落について(要請)

令和5年11月29日に鹿児島県屋久島(やくしま)の沖合において、米空軍横田基地所属のCV-22オスプレイ機が墜落する事故が発生した。この事故でお亡くなりになった方の御冥福を心よりお祈り申し上げるとともに、御遺族並びに関係者の皆様に対し哀悼の意を表する。また、残る搭乗員の方々については、一刻も早く家族の元へ戻る事ができるような祈念する。

さて、オスプレイについては、今般の事故以外にも本年8月にオーストラリアでMV-22の墜落事故が発生し、また、9月にはわずか2週間足らずの間に4回、計6機のMV-22が予防着陸を繰り返すなど、基地周辺住民にとっては、オスプレイの安全性に対する不安を更に募らせている。

また、本市議会では、本年8月の要請行動における「横田基地周辺対策等要望事項」において、度重なる事故及びトラブルに対し、徹底的な原因究明と再発防止について要請するよう求めたところであるが、こうしたなか事故が発生したことや、墜落が発生した同日中に、米軍ヘオスプレイの飛行停止措置を求めなかったことについては、極めて遺憾であり、度重なる事故の発生に対して厳重に抗議する。

ついては、貴職においては、このような状況を十分認識され、次のとおり米軍に申し入れを行うとともに、オスプレイに対する基地周辺住民の不安に対し、国の責任において丁寧な説明を行うことを要請する。

- 1 CV-22オスプレイについて、安全性が確認されるまで、飛行停止措置を講ずること。
- 2 当該事故の経緯を明らかにするとともに、原因究明を行い再発防止を図ること。
- 3 航空機の点検整備を強化するとともに、安全確保の徹底を図ること。
- 4 以上に関する情報を関係自治体に速やかに提供すること。

令和5年12月5日

(提出先 防衛大臣、北関東防衛局長)

◆ 会議の開催状況と審議日程 ◆

17日	▼1月	議会運営委員会
22日		議会運営委員会
19日		議会運営委員会
15日		横田基地対策特別委員会
14日		総務文教委員会
13日		市民厚生委員会
12日		建設環境委員会
8日		議会運営委員会
7日		議会運営委員会
6日		議会運営委員会
5日	▼12月	議会運営委員会
28日		議会運営委員会

● 主な内容 ●

- ◆一般質問(要旨).....2~5面
- ◆議案の審議結果.....6面
- ◆可決等された案件.....6面
- ◆行政視察報告.....7面
- ◆委員会の審査.....7~8面
- ◆特別委員会活動.....8面

一般質問（要旨） 「市政のここを問う」

今定例会では、16名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。

会議録は1月下旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。

また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、一般質問通告一覧は、福生市議会ホームページに掲載しています。

※録画映像を議員名左横のQRコードよりご覧いただけます。

▶福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)



有機フッ素化合物 (PFAS) に関する調査等について



正和会
佐藤 弘治 議員



質問 横田飛行場において2010年から2012年の間に3件の泡消火薬剤の漏出があった件について、その後の新聞報道等で市民の関心がさらに高まる中で市が独自に市内地下水の調査を行う予定と聞くが、調査に至る考え方、その目的及び内容を伺う。

市長 昨今のPFASに関する報道等によりその影響を不安に思う市民に対し、その不安を早急に解消す

るための取り組みが必要であると考え、市内地下水のPFASに係る現状の把握を目的として調査を行うこととした。調査項目は、PFASのうち国により暫定目標値が示されているPFOS及びPFOAを調査する。調査地点は、市内の状況を広く把握するために7つの小学校区単位を目安に調査地点を選定し、計10か所について調査を実施する。調査

結果は風評被害等を考慮して調査地点を公表せずに町名単位によって行うこととし、来年1月末頃の公表を予定している。調査結果に対する問合せ等については、国が発行する「PFOS、PFOAに関するQ&A集」等に基づき、丁寧かつ適切に対応を行っていく。本調査以降も市内地下水の状況把握が可能となるように継続した調査を実施したい。



▲地下水におけるPFAS調査の様子

保育園等における給食について



正和会
山崎 貴裕 議員



質問 子どもたちにとって非常に重要である保育園等の給食はどのような仕組みで運営され、市はいかなる支援を行っているのか伺う。

市長 食育計画を基に園長・栄養士・調理員などによる献立会議を定期的に開催し、慎重かつ綿密にメニューを決定している。市は、一定の基準を満たすことを条件に栄養士や調理員の増配置に対する上乗せ加算

を行っている。また、副食費について、物価高騰に対応するため保育園や保護者の負担を軽減する対策を令和6年度から開始する予定である。

第53回福生市民文化祭について

質問 本事業の概要、目的、評価及び今後の課題と展望について伺う。

教育長 11月3日から12日のうち、土・日・祝日の5日間、市民会館、公民館、さくら会館、茶室福庵で発

表や展示等が行われ多くの来場者でにぎわった。文化祭は文化芸術活動の成果を発表する場であるとともに市民文化の向上と潤いのある市民生活の実現に寄与するものである。今年度は、新たに市内の高校生や若い世代の参加もあった。来場者数も2万5000人でコロナ禍以前の実績まで戻り、地域の文化芸術の活性化を図ることができた。



▲市民文化祭での展示スペース

桜の老木化に対する市の取組について



正和会
森田 哲哉 議員



質問 福生市の名所である桜並木や市内の公園に咲く桜を後世に残すことは我々の使命である。桜の老木化に対する市の取り組みを伺う。

市長 造園業者の樹木診断や職員の定期巡回による樹木の態様確認を行うとともに、害虫被害を早期発見し駆逐するため、防虫ネットや薬剤による対処を行い、桜の寿命を延ばすよう取り組んでいる。観光資源と

しても大切な堤防沿いの桜並木の保護に努めるとともに、安全確保の視点から必要な伐採を含め対応したい。

図書館の今後の展望について

質問 教育委員会から展望を伺う。

教育長 福生市教育委員会は、図書館をより一層充実させるため、平成26年に福生市立図書館基本計画を策定し、市立図書館の目指す将来の方向性を示しているが、今後は、大

人も子どもも楽しく学べる場としてこれまで以上に魅力ある事業を展開するとともに、本市におけるランドマークの一つとして市民に愛される施設とすることを目指す。また、中央図書館のリニューアルに伴う新たなサービス等を位置づけるために、福生市立図書館基本計画の現在の計画期間を1年間延伸して令和6年度末までとする。



▲桜の木へ薬剤を散布する様子

学校給食における物価高騰への対応について



立憲民主党
市川 佳樹 議員



質問 景気悪化と物価高騰は当分の間は回復しないのではないかと懸われる。令和6年度からの給食費の改定に際し保護者負担額の増は行わないと聞いているが、教育委員会の物価高に対応するこれまでの取り組みと給食費改定に至った経緯を伺う。

教育長 消費者物価指数の全国版における食材物価の上昇率は、令和5年4月分は前年同月比で8.4%で

あり、ここ数年間、食材の高騰が続いている。このため、学校給食費について保護者負担額が増加しないよう、令和5年度は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金から約2078万1千円を充当する予定。しかし、食材費高騰の先行きが不透明であることや物価高騰対策に係る国や都の補助金等の交付の見通しも今後は不明であることなどから、賄

材料費の不足が生じる懸念があるため、教育委員会は福生市学校給食センター運営審議会からの答申に基づき、令和5年10月27日開催の教育委員会定例会で学校給食費の改定を議決した。令和6年度以降の学校給食費は改定して引上げを行う予定だが、昨今の物価高騰に鑑み、引上げ額相当分を市費等で負担することで保護者負担の増額はしない考えである。



廃棄物の中間処理について



正和会
仲間 正司 議員



粗大ごみについて

質問 自身で粗大ごみを外へ出せない住民への搬出支援及び今後のサービス向上の取り組みについて伺う。

市長 自身で粗大ごみの搬出が困難な方については、有料で搬出サービスを行う福生市シルバー人材センターや市の粗大ごみ収集委託業者を市ホームページやごみ・リサイクルカレンダーで紹介している。

不法投棄について

質問 不法投棄は社会問題となっているが投棄されやすい場所、ごみの種類、発見後の対応と対策を伺う。

市長 不法投棄されやすいのは、人目につきにくい場所や既にごみ捨ててある場所等である。ごみの種類は、電化製品をはじめ家具類や自転車、タイヤ類等様々である。公共用地では、原則、市が速やかに現場

確認を行い、撤去を促す警告の貼り紙を一定期間掲示した後に回収する。一方、私有地や私道では、土地所有者や管理者が対応する。対策として、公共用地では不法投棄抑制の看板設置等、不法投棄されにくい環境づくりを行っている。私有地では、侵入防止策を講じることや草刈り等、清潔の保持に努めていただくことなどを市広報等により周知している。



▲不法投棄注意喚起のポスター

泡消火薬剤の漏出について



公明党
原田 剛 議員



質問 本年1月25日及び26日に、横田基地内売店(PX)の物販搬入口で起きた泡消火薬剤の漏出について、本市に対する情報提供の有無及び、本市の対応について伺う。

市長 11月3日の報道を受けて、北関東防衛局に対し、事実関係を明らかにするよう申し入れたが、詳細な内容や事実関係について米側に確認しているとして、現在のところ情

報提供はない。引き続き東京都や横田基地周辺自治体とも連携し、対応していく。

小中連携教育について

質問 小中一貫教育分離型ともいわれている小中連携教育に対する本市の所見を伺う。

教育長 本市では、毎年継続的に取り組んでいるもの、イベントとして単発的に行うものなど、全ての中

学校区において小中連携の取り組みが進められている。また、幼保小連携の取り組みや、いじめ防止サミット等、本市小・中学校と都立高等学校の連携も行っており、幅広い範囲で連携教育を進めている。今後とも、全ての児童・生徒のよりよい学びに資するよう、小中連携教育・小中一貫教育の充実に向けた取り組みを進めていく。



▲いじめ防止サミットの様子

ヤングケアラーへの支援について



正和会
小林 貢 議員



質問 子どもらしく育ち、意思が尊重されるという子どもの権利が守られていない状態のヤングケアラーを一人でも多く早急に救い上げなければならないと考える。本市におけるヤングケアラーへの支援の現状や調査、具体的支援内容について伺う。

市長 ヤングケアラーは、子ども自身や家族に認知してもらうこと、また、表面化しにくいいため、周囲の

大人が理解を深め、これまでとの違いに気づくことが重要である。本市では、夏季休暇に入る前に児童・生徒自身の気づきを促す文言や相談場所を記したチラシを学校を通じて配布し、周知を行っている。また、子ども家庭部を始めとし、西多摩保健所、立川児童相談所、福生警察署、福生市教育委員会、福祉保健部、民生委員・児童委員協議会など多くの

関係機関で組織する要保護児童対策地域協議会において、ヤングケアラーの状態にある児童・生徒を含め、要保護児童等の早期発見及び支援、見守りなどを行っている。具体的支援内容及び連携については、個別の状況に応じ各関係機関と連携し、必要な支援に当たっている。調査は、国や東京都の報告を基に状況を踏まえた上で検討していく。



化学物質の影響から健康と環境を守る取組について



生活者ネットワーク
三原 智子 議員



質問 現在、化学物質過敏症の患者が増加傾向にある。公共施設総合管理計画等が進む中、患者に配慮した検討が必要と考える。公共施設での化学物質への環境配慮について、本市の現在の取り組み状況と化学物質過敏症の方への対応について伺う。

市長 公共施設の新築・改修工事に使用する建材は、揮発性有機化合物による健康への影響に配慮し、か

つ石綿を含有しないものとし、ホルムアルデヒドの放散量が最も少なく安全性が高い「エフ・フォスター」の使用を定めている。また、工事完了後には室内空気中に含まれる化学物質の濃度測定を実施し、ホルムアルデヒド他4つの物質について基準値を下回ることを確認の上、使用を開始している。化学物質過敏症の方への対応については、現在のと

ころ公共施設の利用に際して健康被害の相談や要望がないため、特段の対応は実施していない。

質問 先進自治体の具体例を伺う。

企画財政部参事 熊本市の熊本城ホールでは、授乳室、一部の会議室等を「からだに優しい内装材」と称し、仕上げ材や接着剤を天然素材を原料とした製品に変更し、化学物質の少ない空間を提供している。



こども食堂について



日本維新の会
西尾 壽々斗 議員



質問 全国的に広がりを見せているこども食堂に対する本市の考えと支援の取り組み状況を伺う。

市長 子どもの居場所づくりの緊急性と重要性が増している中、様々な地域で各地域のニーズや特性を踏まえた多種多様な居場所づくりの実践が行われており、その代表的な取り組みとしてこども食堂がある。本市では、令和5年度より地域の子ど

もや保護者等が気軽に立ち寄り、食事を取りながら相互に交流を行う場を提供するこども食堂の取り組みに対し、経費の一部を補助する「福生市こども食堂支援事業補助金」を創設し、安定的な実施環境の整備や運営等に関する支援を開始した。現在、2つの団体がこの補助金を活用しているが、その他にもこども食堂に関する相談を数件受けていることから、

今後さらなる広がりがあるものと考えている。こども食堂には、子どもの居場所や子育て支援、孤食対策、食育、地域拠点・世代間交流などのほか、早急な対応が必要な子どもへの支援につなげる役割なども期待される。本市として、市内のこども食堂が円滑に運営されるよう、今後も団体等に対して適切な支援を行っていく。



広域連携について



正和会
清水 義朋 議員



質問 人口減少による労働力不足、インフラや公共施設の老朽化が進むことが想像される。今後を見据え、広域連携をさらに進めるために、ソフト、ハードを含めた課題解決が必要と考えるが、本市の所見を伺う。

市長 人口減少は、近年全国的な課題となっており、本市の人口は、令和2年3月に策定した人口ビジョン及び総合戦略の人口推計において、

2040年には現在より約15%減少すると推計している。そのため本市では、総合戦略を中心とした定住化対策を図るとともに、広域連携にも積極的に取り組んでいる。令和6年1月27日に「6市市長が語る地域自治体連携シンポジウム」を開催し、広域的な観点から意見交換をする予定で、新たな連携についても模索していく。広域連携は、多様化する市民ニーズ

への対応や人口減少社会において、効果的・効率的な行政サービスを提供していくための有効な手段と考える。連携に至るには、自治体間における固有のニーズ等、互いの利害が一致することが前提となり、諸条件の合致には、関係機関との対話の中でお互いに歩み寄る必要があるが、行政需要等を考慮し、今後も住民サービスの向上に資する連携に努める。



▲人口ビジョン及び総合戦略をまとめた福生市総合計画(第5期)

本市の薬物乱用防止対策について



正和会
幡垣 正生 議員



質問 本市の薬物乱用防止啓発活動の取り組みについて伺う。

市長 薬物乱用防止のための啓発活動を推進し、薬物乱用の根絶を図ることを目的に、福生市、羽村市、瑞穂町の2市1町の指導員で構成された「薬物乱用防止推進福生・羽村・瑞穂地区協議会」がある。活動内容は、年1回の総会や東京都主催の研修会への参加等のほか、中学生を対

象に啓発ポスターや標語の募集を行っている。さらに、健康まつりなどでも薬物乱用防止のための啓発活動を行っている。

小・中学校における児童・生徒の歯の健康の保持・増進について

質問 本市における児童・生徒の歯の健康の把握と実態について伺う。

教育長 学校が児童・生徒の歯の健康を把握する機会、学校保健安

全法に基づき実施する小学校入学前に行う就学時健康診断と入学後に毎年行う定期健康診断がある。就学時健康診断では、歯と口腔の形態・機能が正常に発育しているかを確認する。その結果については、「就学時健康診断の結果について」という通知を全ての保護者に渡し、う歯、いわゆる虫歯がある場合は、入学前までに治療を受けるよう依頼している。



▲健康まつり会場での薬物乱用防止PRブース

脱炭素社会の取組について



公明党
川崎 善友 議員



質問 使用済みペットボトルを新たなペットボトルに再生させる水平リサイクルについて市の所見を伺う。

市長 水平リサイクル「ボトルtoボトル」は、ペットボトルを資源として何度も循環することができ、化石燃料由来の資源及びCO2の削減に寄与するものである。現在市が収集したペットボトルは、主にペットボトル以外の衣類や食品トレイなど

プラスチック製品にリサイクルされている。脱炭素社会への一助になるものと考え、水平リサイクルを行っている飲料メーカーに対して聞き取り等を既に実施しており、今後は、導入している自治体の状況や課題等の情報収集を行っていく。

子ども誰でも通園制度について

質問 本市の取り組み状況を伺う。
市長 全ての子育て世帯が就労要

件を問わず保育所等を利用できるという点で、市が掲げる「子育てするならふっさ」「こどもまんなかふっさ」にも通じている。同様の趣旨で東京都が実施している「多様な他者との関わりの機会の創出事業」を、当面は幼稚園で実施する予定で、関連の補正予算を今定例会でご審議いただく。今後も福生市の子ども政策をさらに広く展開していく。



予約型乗合タクシー(AIオンデマンドモビリティ)について



公明党
堀 雄一郎 議員



質問 交通アクセスを補完する新たな手法としての予約型乗合タクシーについて本市の所見を伺う。

市長 予約型乗合タクシーは、AIを活用し、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせることで検索、予約、決済を一括で行うMaasを取り入れたものだが、本市では交通弱者対策として既に福祉バスを導入しており、令和6年1

月9日から新たに「たなばた号」の走行開始と既存の「つつじ号」「もくせい号」のルート改正も行い、さらなる利便性の向上を図っている。まずは、この事業を定着させ、検証を行うことが大切と考えているため、現在のところ予約型乗合タクシーを導入する考えはない。

奨学金返還支援制度について

質問 近隣市等で若年層向けに、

一定期間の定住、特定業種に就業する等を条件に奨学金の返還を支援する制度があるが本市の所見を伺う。

市長 大学生等の若年層をターゲットとする視点は、新たな定住化施策につながる可能性を持った取り組みと考えられることから、令和6年度の人口ビジョン及び総合戦略の改定作業に当たり、引き続き先行自治体の取り組みの状況を注視していく。



▲1月から運行を開始した福祉バス「たなばた号」

米軍横田基地について



日本共産党
市毛 雅大 議員



質問 令和5年1月に泡消火薬剤が漏出したとする報道についての経過と対応は。

市長 11月3日の報道を受け、東京都と周辺市町連絡協議会を代表して、当日中に、都から防衛省北関東防衛局に対し、事実関係を明らかにするよう申し入れをした。その後も横田基地内でのPFOS等を含む泡消火薬剤の現在の保有量、保管場所、

保管方法及び使用の実態について、速やかに情報提供するよう要請している。北関東防衛局からは、事実関係を確認し、分かり次第早急に情報提供するとのことだったが、現在のところ情報提供はない。

有機フッ素化合物(PFAS)による環境汚染問題について

質問 福生市独自でPFASの調査を行うことを公表したが、その内

容について伺う。

市長 11月29日の定例記者会見において、昨今の報道等により、市民からPFASが自分たちの生活や健康にどのような影響があるのか不安に思う声が寄せられており、市民の不安を解消する取り組みとして、市内地下水のPFASに係る現状を把握するため、PFOSとPFOAの調査を実施する旨を説明した。



▲PFASに関する市の記者会見資料

福生市の農地の保全について



日本共産党
伊藤 広美 議員



質問 約30年間で30ha以上の農地が失われている状況から市は農地保全についてどのように考え、取り組んでいるのか伺う。

市長 令和3年3月改定の福生市農業振興計画において、福生市農業の将来像を「福を生む 福生の農地 チーム福生で 緑の保全」と設定し、その将来像を実現していくため、3つの基本方針を定めている。農地

保全のための特定生産緑地の指定、担い手の育成支援や環境に配慮した技術向上、安全・安心な地場産野菜の活用や農業イベントの充実を図り、市民農園の提供や市内イベントにおける地場産農産物の販売などに取り組むなど、引き続き各関係機関と連携し、農地の保全に努めていく。

市民農園の開設について

質問 市が民有地を借り上げ、市

民農園として開設することは可能か。
生活環境部長 市民農園を開設する場合の要件は、まずは無償かつ長期間にわたり借りられる農地であること。次に、最も重要である需要と供給のバランスを考慮し、所在する地域、面積の規模、周辺環境等の状況等も踏まえて判断している。それらの要件等を全て満たしていれば開設は可能と考えている。



▲市内の農地

歳入確保の取組について



公明党
青木 健 議員



質問 近年、自治体において公式YouTubeチャンネルを収益化する動きが広がっている。新たな歳入確保の取り組みとして、本市の公式チャンネルの収益化について所見を伺う。

市長 広告収入の収益化は、登録者数1000人以上、動画の総再生時間が直近1年間で4000時間以上の条件があり、本市のチャンネルはこれを満たし、令和5年6月に歳入確保

の一つとして収益化を開始した。収益は「広告単価×広告再生回数」で算出され、単価は非公表で不明だが、11月末現在の収入額は1万7302円であった。今後も、多くの方に視聴していただける魅力的でわかりやすい動画を作成し視聴してもらうことで、歳入につながればと考える。

質問 現在の取り組みや今後の考えなどを伺う。

企画財政部長 動画での情報提供の重要性を全庁的に共有し、より積極的に取り組むため、令和5年5月に秘書広報課でマニュアルを作成した。動画は、同課と各担当課で打ち合わせを行った上で作成。公開時にはハッシュタグ等で検索されやすい工夫を行い、公開後は視聴者の年齢層等を分析、次の動画作成に反映させるよう努めている。



▲福生市公式YouTubeチャンネルのトップ画面

陳情

結論の付いた陳情は次のとおりです。

◆不採択

○議員定数削減を求める陳情書(5・13号)
(不採択理由)
必要な議員数、適正な議員数については、現在福生市議会として、多角的な観点から慎重に議論を進めていることから、意に沿わない。

○「ガソリン価格の高騰対策として、トリガー条項の発動とガソリン税・軽油取引税への消費税課税停止・見直しを求める意見書」を政府に送付することを求める陳情書(5・15号)
(不採択理由)
トリガー条項の凍結を解除した場合に、灯油や重油が対象とならないことへの不公平感や、国と地方の巨額な財源が減るなどの課題が懸念され、国民生活全体にどのような影響を与えるか不明であるため、専門かつ慎重な判断が必要なことから、意に沿わない。

○窓口業務の外部委託中止を求める陳情書(5・16号)
(不採択理由)
窓口業務については、市民サービスの向上、安定した業務体制の確保を図るために業務の一部について民間事業者への委託化を進めてきた。適正な理由及び適正な手続きにより実施されているため、陳情主の諸論は認められないことから、意に沿わない。

○福生市公の施設の行政庁の位置を条例で定めることを求める陳情書(5・17号)
(不採択理由)
地方自治法には指定管理者を行政庁とする条例の制定を求めている条文は見当たらず、指定管理者に指定する団体名・所在地は告示等で明らかとなっており、新たな条例を定める必要はないことから、意に沿わない。

討論

●「ガソリン価格の高騰対策として、トリガー条項の発動とガソリン税・軽油取引税への消費税課税停止・見直しを求める意見書」を政府に送付することを求める陳情書

■賛成

ガソリン価格を初めとする物価高騰対策は、もはや一刻の猶予も許されず、中でも石油価格への対策は急務であり、トリガー条項の発動を含め、ガソリン価格を引き下げる対策が必要であること。
対策を実施することで、物流の血液であるガソリン価格が下がり、経済の循環もよくなるに違いないこと。

ガソリン本体価格には様々な税金がかけられおり、本体価格に課税するというのはどう考えてもおかしいこと等から、本陳情に賛成する。

●福生市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

■反対

この条例改正は、人事院勧告を踏まえ、一般職の給与改定に併せて市議会議員に支給する期末手当の支給割合を引き上げるというものであり、議員報酬や特別職の給料については福生市特別職報酬等審議会にて審査されるが、期末手当についてはその対象から外れているため、市民の暮らしが厳しくなっていく状況の下、市民の代表である議員や特別職の報酬アップについては自粛すべきこと。

現状の議員報酬は、若者世代が立候補しようと思えるような給与水準ではなく、十分であるとは認識していないが、一日も早く市民全体の暮らしが向上する政策を実行し、堂々と引き上げを審議できるようにするために、市民の暮らしを守る市政の充実に努力する必要がある。今、引き上げることについて市民の理解を得られるとは考えられないこと等から、本案に反対する。

ご利用ください! 福生市議会インターネット中継



福生市議会
インターネット中継

パソコンのほか、スマートフォン、タブレット端末でも、市議会のインターネット中継を視聴できます。

- ◆配信内容 本会議のライブ映像と録画映像
- ◆利用方法 福生市公式ホームページ「福生市議会」→「インターネット中継」よりアクセス

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」により、市議会だよりの音訳をデジ一方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。ご家族やお知り合いで、希望される方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

議会事務局 ☎042-551-1523

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。

ケーブルテレビによる議会中継

多摩ケーブルネットワークでも本会議の生中継を放映します。ぜひご覧ください。

議案の審議結果 (○賛成 ×反対)

録画映像をご覧ください



議案番号	議案名	正和会	公明党	日本共産党	生活者ネットワーク	立憲民主党	日本維新の会	議決結果
市長提出議案								
議案第63号	福生市都市計画税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第64号	福生市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第65号	福生市学童クラブ条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第66号	令和5年度福生市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	可決
議案第67号	福生第七小学校防音機能復旧(復機)工事(空調設備)請負契約	○	○	○	○	○	○	同意
議案第68号	福生市自転車駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
議案第69号	福生市宮福生駅西口駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
議案第70号	扶桑会館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
議案第71号	熊川地域体育館及び福生地域体育館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
議案第72号	福生市民会館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
議案第73号	福生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第74号	福生市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	可決
議案第75号	福生市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	×	可決
議案第76号	福生市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	×	可決
議案第77号	福生市の一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	可決
議案第78号	福生市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第79号	令和5年度福生市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	×	可決
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦に関する意見聴取について	○	○	○	○	○	○	異議を唱へず

可決等された案件(要旨)

●福生市都市計画税条例の一部を改正する条例
都市計画税の税率の特例を、令和6年度から8年度までの各年度に引き続き適用するため、条例を改正するもの。

●福生市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
内閣府令である特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、引用する規定を整理するとともに、特別利用保育の基準及び特別利用教育の基準に係る読み替え規定を改めるため、条例を改正するもの。

●福生市学童クラブ条例の一部を改正する条例
わかたけクラブについて、わかたけ会館内から福生第五小学校内へ移転及び名称を変更するため、条例を改正するもの。

●令和5年度福生市一般会計補正予算(第6号)
障害者福祉費、生活保護費及び子ども育成費の増額のほか、こども家庭センター設置に伴う費用の計上、令和6年度以降の指定管理者の指定に伴う指定管理委託の債務負担行為を設定するに当た

り、歳入歳出にそれぞれ5億2154万6千円を追加し、予算総額を31億2004万6千円とするもの。
歳入では、国有提供施設等所在市町村助成交付金等の交付額が確定し、前年度比0.5%減の計17億4388万7千円。国庫補助金は、東福保育園建設費補助金に係る就学前教育・保育施設整備交付金、特定防衛施設周辺整備調整交付金などで2億1742万9千円。都補助金は、有料老人ホーム建設費等補助金、多様な他者との関わりを促進の創出事業費補助金などで5413万9千円。このほか、一般財源の不足を補うため財政調整基金から1億3千万円を繰り入れるもの。
歳出では、社会福祉費は、障害者福祉費の介護及び訓練等給付費などで8012万9千円。児童福祉費は、子ども育成費の東福保育園建設費補助金や幼稚園に交付する多様な他者との関わりを促進の創出事業費補助金などで8427万9千円。生活保護費は医療扶助の増などにより1億1616万3千円。保健衛生費は、子宮頸がん予防ワクチンの影響などによる予防接種事業の増や、こども家庭センター設置に伴う費用などで5424万9千円。また、地域体育館など4件の指定管理委託及びごみ総合受付センター事業委託について、債務負担行為を設定するもの。

●福生第七小学校防音機能復旧(復機)工事(空調設備)請負契約
令和5年度から6年度にかけ空調設備改良工事を特定建設工事共同企業体へ発注するもので、予定価格が1億5千万円以上となることから、議会の同意を得るもの。

●福生市自転車駐車場の指定管理者の指定について
指定期間終了後も引き続き指定管理者を指定するため、議会の議決を求めるもの。

●福生市宮福生駅西口駐車場の指定管理者の指定について
指定期間終了後も引き続き指定管理者を指定するため、議会の議決を求めるもの。

●扶桑会館の指定管理者の指定について
指定期間終了後も引き続き指定管理者を指定するため、議会の議決を求めるもの。

●熊川地域体育館及び福生地域体育館の指定管理者の指定について
指定期間終了後も引き続き指定管理者を指定するため、議会の議決を求めるもの。

●福生市民会館の指定管理者の指定について
指定期間終了後も引き続き指定管理者を指定するため、議会の議決を求めるもの。

●福生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
地方税法の一部改正に伴い、出産被保険者に係る産前産後期間の所得割保険税及び被保険者均等割保険税の軽減措置に関する規定を整備するため、条例を改正するもの。

●福生市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例
東京都の給与改定に準じて特定任期付職員の給料表及び期末手当の支給割合を改定するとともに、令和5年12月期の期末手当の支給割合の特例を定めるもの。

●福生市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
福生市議会議員に支給する期末手当の支給割合を改定するとともに、令和5年12月期の期末手当の支給割合の特例を定めるもの。

●福生市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例
福生市長等の期末手当の支給割合を改定するとともに、令和5年12月期の期末手当の支給割合の特例を定めるもの。

●福生市の一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
東京都の給与改定に準じて一般職の職員の勤勉手当の支給割合及び給料表を改定するとともに、令和5年12月期の勤勉手当の支給割合の特例を定めるもの。

●福生市手数料条例の一部を改正する条例
戸籍法の一部改正に伴い、戸籍電子証明書提供用識別符号及び除籍電子証明書提供用識別符号の発行並びに届書等情報の内容に係る証明書の交付及び閲覧に関する手数料を定めるもの。

●令和5年度福生市一般会計補正予算(第7号)
国の補正予算に伴い、普通交付税の増額及び物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の追加や、給与改定等に伴う職員人件費の増額、住民税非課税世帯物価高騰支援給付金(追加支給分)給付事業、キャッシュレス決済ポイント還元事業を実施するため、歳入歳出それぞれ7億4855万円を追加、総額320億6859万6千円とするもの。

●人権擁護委員候補者の推薦に関する意見聴取について
中西弘氏の任期満了に伴い、引き続き委員として推薦することに異議ない旨を答申するもの。

行政視察報告

全国の市町村の特色ある施策を今後のまちづくりの参考にするため実施した、常任委員会の先進市視察について報告します。
なお、視察報告書の全文を市議会ホームページに掲載しています。
※ 右のQRコードよりご覧いただけます。



総務文教委員会

令和5年10月30日(月)～31日(火)
視察先 ①宮城県牡鹿郡女川町 ②宮城県東松島市

- ① 小中一貫教育・防災教育の取り組みについて
東日本大震災の影響で町全体が壊滅的な被害を受け、令和2年に施設一体型小中一貫教育学校女川町立女川小・中学校が新設された。特色として、ハード面では、校舎をはじめあらゆる設備、機能が大変充実していた。ソフト面では、小中合同職員会議、小中合同防災訓練等、一体となって取り組んでいる。
- ② 小中連携教育・防災教育の取り組みについて
東松島市も震災の甚大な被害を受け、小・中学校が共に新設され大変充実した施設であった。こちらは施設分離型で、それぞれの学校の独自性が特色である。また、小中連携はもちろんのこと、小小連携、地域連携も活発で、家庭、学校、地域が一体となって防災教育にも取り組んでいる。



宮城県東松島市

建設環境委員会

令和5年10月31日(火)～11月1日(水)
視察先 ①長野県伊那市 ②長野県駒ヶ根市

- ① 「日本一の桜の里づくり」計画について
コヒガンザクラ樹林を有する高遠城址公園をはじめ、桜の名所が数多く存在し、咲き誇る桜を大切にしながら、市民の桜に対する思いやり、愛着心の醸成を図り「日本一の桜の里」をめざしている。「地域桜守の会」の活動や美篤小学校の4年生が視察記録を行うことを通して、環境保全の意識向上を図っている。
- ② 「企業誘致等」について
夏は涼しく、冬は晴天に恵まれることなど、自然環境に恵まれた立地を活かし、1994年以降、主な製造業だけでも累積49社の企業誘致に成功、温泉宿やビジネスホテルなどの観光業も行われている。市民向けテレワーク事業では、業務委託の形で、市民テレワーカーに仕事を提供することができている。

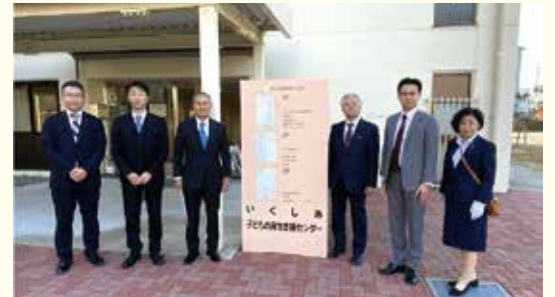


長野県伊那市

市民厚生委員会

令和5年11月1日(水)～2日(木)
視察先 ①兵庫県尼崎市 ②兵庫県神戸市

- ① 子どもの育ち支援センター「いくしあ」を拠点とした子ども家庭総合支援について
「いくしあ」は、児童虐待や不登校、発達障害など、日々の暮らしのなかで課題や困難を抱える子どもたちと子育て家庭に寄り添い支えるため、福祉・保健・教育などが連携し、0歳からおおむね18歳までの子どもへ様々な支援を行っている総合的な施設となっている。
- ② こども・若者ケアラー（ヤングケアラー）支援について
ヤングケアラーとは「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこども」とされており、令和3年6月1日に、全国で初めて、こども・若者ケアラー相談・支援専門の相談窓口を設置し、介護などを行う子どもや20代の方を支援する取り組みを行っている。



兵庫県尼崎市

問 管理経費縮減の余地

答 令和6年4月からの稼働開始に伴い、事務引継ぎや事務機器設置などの事前準備を行い、円滑に業務を開始するため。

問 ごみ総合受付センターの設置場所を伺う。

答 リサイクルプラザ1階の計量窓口を併設する事務所に設置する。

●福生市自転車駐車場の指定管理者の指定について

問 福生市自転車駐車場の指定管理者の指定について

答 駐車券・レシート等の消耗品費、修繕費、通信運搬費、予備費などが含まれる。



▲福生市営福生駅西口駐車場

問 福生市学童クラブ条例の一部を改正する条例

答 わかたけクラブ、田園クラブを利用していた第五小学校の通所児童は、令和6年4月1日より、学校内の学童クラブを利用できることとなる。効果としては、学校内に学童クラブが設置されることで、子どもの安全が確保される。名称の変更は児童にアンケート調査し、第五小学校のマスコットキャラクターから「ゴツククラブ」に決定した。

問 子ども家庭センター設置に伴う準備について伺う。

答 子ども応援館から保健センターへ移動するため、令和6年4月1日の開設に向けて、市民への影響は最小限になるよう進めていく。

問 幼稚園教育振興事業について、多様な他者との関わりを創出することについて伺う。

答 市内3つの幼稚園にて、主に2歳児を一定程度継続的に預かることを想定している。対象児童に関する支援計画の作成や保護者に対する定期的な面談を実施するなどの内容となっている。

問 令和5年度福生市一般会計補正予算(第6号)

答 コロナ禍で国や都が実施した実質無利子・無担保の融資制度が終了し、条件的に有利である市の融資制度への申し込みが増加したため。

問 福生市自転車駐車場の指定管理者の指定について

問 福生市自転車駐車場の指定管理者の指定について

答 令和6年度の3千80万円は、令和4年度決算の約7・6%増を見込む数字で、令和7年度から令和10年度にかけては、人口減少による利用者の減少を見込み、前年度比0・5%ずつ減額した計画としている。令和6年度中に自動精算機及び電磁ロック式の駐輪ラックを設置後、管理員の配置を見直す。

問 特別利用保育の内容と条例を改正することによる影響等について伺う。

答 特別利用保育とは、例外的に保育園において入所を認めることができるといえるものであるが、実施自体を現在行っており、今回の条例改正による影響等は特にない。

問 法改正によるシステム改良のことだが、改良の内容について伺う。

答 戸籍附票システム、住民基本台帳システム及びコンビニ交付システムへ、氏名の振り仮名の記載に必要な機能を整備するための改良である。

問 令和5年度福生市一般会計補正予算(第6号)

答 令和5年度福生市一般会計補正予算(第6号)の数字で、令和7年度から令和10年度にかけては、人口減少による利用者の減少を見込み、前年度比0・5%ずつ減額した計画としている。令和6年度中に自動精算機及び電磁ロック式の駐輪ラックを設置後、管理員の配置を見直す。

問 令和5年度福生市一般会計補正予算(第6号)

答 令和5年度福生市一般会計補正予算(第6号)の数字で、令和7年度から令和10年度にかけては、人口減少による利用者の減少を見込み、前年度比0・5%ずつ減額した計画としている。令和6年度中に自動精算機及び電磁ロック式の駐輪ラックを設置後、管理員の配置を見直す。

問 令和5年度福生市一般会計補正予算(第6号)

答 令和5年度福生市一般会計補正予算(第6号)の数字で、令和7年度から令和10年度にかけては、人口減少による利用者の減少を見込み、前年度比0・5%ずつ減額した計画としている。令和6年度中に自動精算機及び電磁ロック式の駐輪ラックを設置後、管理員の配置を見直す。



▲現在のわかたけクラブ

委員会の審査から

各常任委員会から報告された
主な審査概要をまとめました

市民厚生委員会

12月13日に委員会が開催され、4件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。

建設環境委員会

12月12日に委員会が開催され、3件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。また、陳情1件は、継続審査となりました。

●福生市国民健康保険税 条例の一部を改正する条 例

問 産前産後の保険税を減額することなどが、施行日は令和6年1月1日となっている。国民健康保険税の税収への影響額について伺う。

答 令和5年度の影響額は、18万円、令和6年度は73万円の税収減を見込んでいる。

総務文教委員会

12月14日に委員会が開催され、6件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。また、陳情3件は不採択となりました。



▲リニューアルオープン前の中央図書館を視察

●福生市都市計画税条例 の一部を改正する条例

問 本条例の改正にあたり、検討状況、提案までの経過等について伺う。

答 税率の検討については、令和5年7月に都市計画税検討会を立ち上げ、令和6年度以降の都市計画事業、また、将来予定されている都市計画事業の有無、事業量などの積

算を行った上で税率、充当率の検討を行い、現行税率100分の0.24を引き続き適用するという結論を庁議で審議し、議案提案になった。

●令和5年度福生市一般会計補正予算(第6号) (総務文教委員会所管分)

問 光熱水費の高騰について、新電力いわゆるPPSとの契約内容及び全体的な状況について伺う。

答 従前の契約が令和5年10月末をもって期間満了となったことから、入札により新電力(PPS)と令和5年10月より13か月の契約を締結、これにより現在のエネルギー価格の高騰の影響から、基本料金単価等が従前の契約よりかなり上昇。電気使用量が変化していませんが、歳出見込みに不足が生じる施設については、補正が必要になる。

●福生第七小学校防音機能 能復旧(復機)工事(空調 設備)請負契約

問 契約を特定建設工事共同企業体(JV)に発注する理由について伺う。

答 代表者(大企業)と構成員の(中小企業)間でJVを結成し工事を受注することで、中小企業の受注機会の拡大を図るため。

●扶桑会館の指定管理者 の指定について

問 指定管理者の選定が非公募とあるが、どのように適正な選定がなされ

ているか伺う。

答 非公募とはいえ財務審査、第一審査、第二審査、それぞれ満点中70%以上の得点を得なければ、不選定となる手順を踏んでおり、適正に選定されたものと考えている。

●熊川地域体育館及び福 生地域体育館の指定管理 者の指定について

問 指定管理の応募者が1事業者しかなかったことをどのように捉えているか伺う。

答 1者しかなかった要因は、市としても把握し難いが、昨今の人材・人手不足等が考えられる。選定審査では、財務審査、第一次審査、第二次審査と適正な選定を行い、また、応募事業者には応募が1者であったことは伝えていないことから、競争性が機能していたと考えている。指定期間中も施設所管課と指定管理者の間で例月の会議を開催し、指定管理事業の実施状況把握、情報交換などを行っている。さらに、各年度でモニタリングを実施し、常に適正な管理やサービス内容の改善向上に努めている。市としては、選定手続き上、問題なく、指定後も管理やサービス水準の維持向上を図れるよう適切に対処していく。

●福生市民会館の指定管 理者の指定について

現在の指定管理者の主な事業として高く評価された事業にはどのようなものがあつたか。また、現在の指定管理者に対して公民館長としての所感を伺う。

答 主な事業として、有名バンドによるコンサートやお笑い芸人によるライブ、また、地元ゆかりの方々の出演によるロビーコンサートなどを実施した。公民館長の所感としては、コロナ禍による様々な制限の中、工夫をしながら各種事業を行うなど、苦勞された点が多々あつたかと思うが、適切に指定管理業務を実施していただいたものと感じている。

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が、閉会中も含め8回開催されました。

11月28日の委員会において、今後、議会改革について取り進むこととし、まずは「議員定数」と「議場等の放送設備の更新」を議題とすることとした。また、12月19日の委員会に付託された陳情1件は、不採択となりました。

特別委員会活動から

横田基地対策 特別委員会

12月5日に委員会が開催され、1件の議題について審査しました。

1 鹿児島県屋久島沖合での横田基地所属CV-22オースプレイの墜落について

米軍及び国に対して次の事項を要請することを決定した。①CV-22オースプレイについて、安全性が確認されるまで飛行停止措置を講ずること。②当該事故の経緯を明らかにするとともに、原因究明を行い、再発防止を図ること。③航空機の点検整備を強化するとともに、安全確保の徹底を図ること。

12月15日に委員会が開催され、1件の議題について審査しました。

1 横田基地に関する情報等について

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会が11月22日に実施した「横田飛行場内における泡消火薬剤漏出への対応に係る要請」に対し、回答として国から次の情報が提供があった。①米側からはその事実関係や状況について、調査・確認作業を進めているとの説明を受けている。②横田飛行場におけるPFOAやPFOSやPFOAが含まれる泡消火薬剤の保管量や保管状況、使用実績については、現在、米側に確認を行っている。③米側に対し、要請した。

日米合意に基づく通報対象であるか否かにかかわらず、基地内でのPFOA等を含む泡消火薬剤の漏出についての速やかな情報提供を要請した。

鹿児島県屋久島沖合での横田基地所属CV-22オースプレイの墜落について報告があった。①11月29日、午後2時40分頃、鹿児島県屋久島の東側の沖合にて、訓練中の米空軍横田基地所属のCV-22オースプレイ1機が墜落した。②12月5日には、米軍は乗員8名全員について死亡を認定した。③11月30日には、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会から、国及び米軍に対して、安全性が確認されるまで飛行停止措置を講ずること等を要請した。

令和5年第4回定例会が終了しました。去る11月29日鹿児島県屋久島の沖合において米軍横田基地所属のCV-22オースプレイ墜落事故が発生しました。この事故でお亡くなりになった方のご冥福を心よりお祈り申し上げるとともに、ご遺族並びに関係者の皆様に対し哀悼の意を表します。この事故について、定例会初日に横田基地対策特別委員会が開催され、米軍及び防衛省に対し、事故の原因究明と再発防止等の要請について審議され、議会運営委員会を経て要請文を送付しました。(内容は一面に掲載)

また、今定例会では福生市一般会計補正予算(第6号)が審議され、令和6年4月に新設される「こども家庭センター」設置工事や「こみ総合受付センター」の開設に係る予算が可決されました。「こども家庭センター」は、新たに保健センター内に設置されるもので、子育て施策のさらなる充実が期待されます。

久しぶりに新型コロナウイルス感染症によるさまざまな制限の無い正月を迎えました。市民の皆様様の活気にあふれる一年になることをご祈念いたします。

次回定例会(令和6年第1回)のお知らせ(予定)

～ぜひ、傍聴にお越しください～

日	月	火	水	木	金	土
2/25	26	27 一般質問 本会議 午前10時開会	28 一般質問	29 一般質問	3/1 一般質問	2
3	4	5 予算審査 特別委員会 午前10時開会	6	7	8	9
10	11	12 常任委員会 午前10時開会	13	14	15	16
17	18	19	20 春分の日	21 議会運営 委員会 午前10時開会	22	23
24	25	26 本会議 午前10時開会	27	28	29	30

会期：令和6年2月27日～3月26日
※会期中に特別委員会が開催される予定です。
※日程は変更になることがあります。

編集後記

令和5年第4回定例会が終了しました。去る11月29日鹿児島県屋久島の沖合において米軍横田基地所属のCV-22オースプレイ墜落事故が発生しました。この事故でお亡くなりになった方のご冥福を心よりお祈り申し上げるとともに、ご遺族並びに関係者の皆様に対し哀悼の意を表します。この事故について、定例会初日に横田基地対策特別委員会が開催され、米軍及び防衛省に対し、事故の原因究明と再発防止等の要請について審議され、議会運営委員会を経て要請文を送付しました。(内容は一面に掲載)

また、今定例会では福生市一般会計補正予算(第6号)が審議され、令和6年4月に新設される「こども家庭センター」設置工事や「こみ総合受付センター」の開設に係る予算が可決されました。「こども家庭センター」は、新たに保健センター内に設置されるもので、子育て施策のさらなる充実が期待されます。

久しぶりに新型コロナウイルス感染症によるさまざまな制限の無い正月を迎えました。市民の皆様様の活気にあふれる一年になることをご祈念いたします。